

学年	高校３年	教科	数学科	科目	数学Ⅲ	単位数	6
教科書名		数学Ⅲ（数研出版）		副教材名	サクシート数学Ⅲ+ C（数研出版）		
コース・クラス		中高一貫理系					

I. 目標

積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

II. 授業のねらい

5章 積 分 法 … さまざまな関数の積分公式を理解し、置換積分法・部分積分法の解法を身につけさせる。

6章 積分法の応用 … 定積分の意味や性質を理解させ、図形の面積・体積を求めることができるようにする。

III. 授業の進め方

1. 教科書を中心とした授業を展開する。国公立難関私立大学理系学部一般選抜に向けて必要となる知識・技能を補足して扱う。
2. 定期的に小テスト実施し、定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて、問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験（試験時間 100 分）

教科書と問題集の内容を7割、模擬試験レベルの問題を3割程度出題する。初見の問題も出題する。

- 1学期 中間試験 : 積分法
- 1学期 期末試験 : 積分法の応用
- 2学期 期末試験 : 数学入試対策演習

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	7章 積分法 1節 不定積分 2節 定積分	提出物 小テスト 定期試験	- それぞれの関数の不定積分の公式を理解する。 - 置換積分法，部分積分法について理解する。 - 定積分の性質について理解する。 - 曲線で囲まれた図形の面積，体積を求めることができるようになる。
	5			
	6	8章 積分法の応用		
	7			
二学期	9	数学入試対策演習 (Ⅲの内容)	提出物 小テスト 定期試験	- 基本事項を確認し，一般選抜入試過去問を通して，入試に対応できる数学力を身に付ける。 - 一般選抜を意識し，時間配分を考えながら問題に取り組むことができる。 - 一般選抜や模試における，基本問題の解法を幅広く理解することができる。
	10			
	11			
	12			

※ シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により変更することもあります。